

第 12 回 SD フォーラム

テーマ：変化の時代に求められる自律的人材

大学職員は大学運営に関わるプロフェッショナルとして、時代を見据えた的確な舵取り能力と、環境の変化や社会のニーズを正確に分析し、それを大学における意思決定や社会的使命である教育・研究に反映させる能力が求められています。

12 回目を迎える今年度の SD フォーラムは、「変化の時代に求められる自律的人材」をテーマとして実施します。自律的人材な成長について考える基調講演と様々な分野の報告者による分科会を通じて、自律的人材への成長や自律的人材の育成、マネジメントについて学んで考え、今後の各大学・短期大学における職員の成長や人材育成等に活かしていただくことを目指します。

【開催概要】

日 時：2014 年 10 月 19 日（日）10 時～17 時 15 分

会 場：キャンパスプラザ京都 京都市下京区西洞院通塩小路下る（JR 京都駅ビル駐車場西側、ビックカメラ前）

テ ー マ：変化の時代に求められる自律的人材

対 象：大学・短期大学の教職員

定 員：基調講演 180 名（先着順）、各分科会 30 名（先着順）

申込期間：加盟大学・短期大学 8 月 5 日（火）～9 月 12 日（金）

非加盟大学・短期大学 8 月 19 日（火）～9 月 12 日（金）

※8 月 5 日（火）～8 月 18 日（月）の期間は、公益財団法人 大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の先行申込期間となっておりますので、この期間は加盟大学・短期大学以外の方は、お申込みいただけません。

※加盟大学・短期大学先行申込期間中（8 月 5 日～8 月 18 日）は、各分科会は優先定員（15 名）までの受付となります。

※定員に空きがある場合でも、運営の都合上、当日の参加申込や分科会の変更は致しかねますのでご了承ください。

申込方法：公益財団法人 大学コンソーシアム京都ホームページ内にある「第 12 回 SD フォーラム」のページより、フォーラム参加申込フォーム（URL：<https://event.consortium.or.jp/sd12/>）にアクセスし、画面の指示に従って申込み手続きを行ってください。申込手続き完了後に「申込み完了メール」をお送りします。

翌日になっても「申込み完了メール」が届かない場合は、大学コンソーシアム京都までお問い合わせください。

「第 12 回 SD フォーラム」のページには、当財団のトップページの Pick UP にあるリンク、もしくは、ホームページ下方にある「SD フォーラム」のリンクよりアクセスできます。

参 加 費：加盟大学・短期大学の方 3,000 円

非加盟大学・短期大学の方 6,000 円

※参加費お支払後の返金には応じかねますので、ご了承ください。

※参加費をお支払いただいた後にやむを得ずご欠席、キャンセルされる方には、「第 12 回 SD フォーラム」報告集を送付いたします。

参加費払込：申込手続き者宛に、8 月下旬頃から順次、郵送にて払込票（請求書）をお送りしますので、最寄りのコンビニエンスストアでお支払ください。取扱可能なコンビニエンスストアは、同封している払込票の裏面をご参照ください。なお、銀行（ゆうちょ銀行・ネットバンク含む）等の金融機関からの振込みはできませんので、ご留意願います。また、お申込みいただいても参加費をお支払いただいていない方はご参加いただけません。

振込締切日：**2014 年 9 月 26 日（金）まで**

参 加 証：参加費の払込みが完了した方には、10 月上旬に「参加証」をメールで送信します。10 月 8 日（水）までに参加証（メール）が届かない場合は、大学コンソーシアム京都までお問い合わせください。当日は、送信された参加証（メール）を各参加者がプリントアウトして持参し、受付にてご提示ください。

なお、代理の方が参加される場合は、当日、受付にお申し出ください。

報 告 集：2015 年 3 月頃に報告集を発行し、お申込みの際にお知らせいただいた住所に送付する予定です。

ープログラムー

9時30分～ 受付開始

10時00分～12時00分 第1部 基調講演

テーマ：実践知の獲得と自律的な成長：批判的思考の役割

講師：楠見 孝氏（京都大学 大学院 教育学研究科 教授）

経歴：博士（心理学）。

学習院大学助手、筑波大学講師、東京工業大学助教授、京都大学助教授を経て、2008年より現職。

専門は認知心理学。主な著書に『批判的思考力を育む：学士力と社会人基礎力の基盤形成』（共編、有斐閣）、『科学リテラシーを育むサイエンス・コミュニケーション：学校と社会をつなぐ教育のデザイン』（編著、北大路書房）、『なつかしさの心理学：思い出と感情』（編著、誠信書房）など。

本講演では、人はどうやって仕事に熟達するのかについて、(a)仕事の熟達化と実践知とは何か、そして(b)実践知をどのように獲得し、継承するかについて述べます。さらに、(c)大学を取り巻く状況変化に対応し、自律的人材として成長するためには、批判的思考が重要なことについて述べます。

参考文献 金井壽宏・楠見 孝（編）2012『実践知：エキスパートの知性』 有斐閣

12時00分～13時00分 お昼休み

13時00分～16時00分 第2部 分科会

分科会 A

テーマ：学習者を支援する職員が「学ぶ」！

報告者：小貫 有紀子 氏（大阪大学 未来戦略機構 戦略企画室 特任講師）

経歴：広島大学大学院教育学研究科修了。博士（教育学）。九州大学特任助教を経て2013年から現職。専門は高等教育マネジメント、学生支援論。学生支援における学習者中心主義の影響や学習成果分析の動向、職員による教育的アプローチについて、日米比較の視点から調査研究を進めている。

大学は今、変化の激しい環境に対応しようと、必死に改革を進めています。大学の未来を創っていく世代の職員である皆さんにとって、未知なる課題に向き合うことは、もはや必須の課題です。

本分科会では、参加者同士の対話を通して、皆さんの中にある理想の職員像を探り、どうしたらそこに近づけるのかを皆で考えていきます。他者との対話を楽しみながら、自分なりの「自律的人材」を探してみてください。

※【留意事項】

本分科会は、学生支援に携わっている、または関心のある若手職員を対象とした「参加者参画型ワークショップ」です。コミュニケーションを重視したプログラムを想定していますので、参加者の皆様の積極的な対話や参画を求めます。

分科会 B

テーマ：「自律した大学職員になるために」～若手大学職員間のピア・サポートから考察する～

報告者：松田 優一 氏（関西大学 学生サービス事務局 学生支援グループ）

経歴：関西大学文学部卒業。学生時代に関西大学ピア・コミュニティの立ち上げに関わる。2010年学校法人関西大学入職。日本ピア・サポート学会認定ピア・サポート・トレーナーとして活動支援を行うとともに、大学職員が主体的に「学び合い」「支え合う」環境を構築したいという思いから、大学行政管理学会において研究会の運営を行っている。現在は、学生生活支援グループでの業務の傍ら、大学行政管理学会大学改革研究会代表、日本私立大学連盟学生生活支援研究会幹事、日本ピア・サポート学会理事を務める。

「変化の時代に求められる自律的人材」とはどのような大学職員を指し、どのような過程を経て実現できるものなのでしょうか。本分科会では、ごく一般的な大学職員である私が、大学行政管理学会大学改革研究会 (<https://juam.jp/wp/kaikaku/>) で活動することとなった経緯やこれまでの活動の事例、活動を経て得た知見等を紹介し、参加者の皆様と大学職員の自律的なキャリア形成について考えるインタラクティブな場にしたいと考えております。是非お気軽にご参加ください。

分科会 C

テーマ：産学協働教育のプロを目指す

—産学協働教育「企業人と学生のハイブリッド」の実践知をたよりに—

報告者：渡辺 卓也 氏（大和電設工業株式会社 システム技術部長）

谷 政則 氏（大和電設工業株式会社 SI 営業部 SE 課）

山本 尚広 氏（京都産業大学 共通教育推進機構 コーオプ教育研究開発センター 課長補佐）

科目紹介：京都産業大学では、「企業人」と「学生」のハイブリッド（混成）による産学協働型科目「企業人と学生のハイブリッド」を2011年度より開講しています。

本科目は、激しい環境の変化に順応できる人材の育成を目指す企業と、主体的学びをもとに自律した学生の育成を目指す大学との産学協働による人材育成プログラムであり、2013年度は、大和電設工業株式会社と協働を行いました。

産学協働型科目に対して、企業はどのような思いや考えをもって参画していたのか。担当職員は科目にどのように参画し、企業とどう連携していったのか。本分科会では、産学協働型授業に参画した企業と担当職員が、それぞれの視点から授業運営を振り返りながら、産学協働型教育の現状と課題を共有します。そして、大学職員が担うべき役割と今後求められる役割について皆さんと一緒に考えます。

※お申込みの際に、在職年数・所属部をお知らせ願います（ワークショップ実施運営の参考のため）。

分科会 D

テーマ：「役割」と「責任」を明確にする人材の育成について

報告者：鶴巻 耕介 氏（特定非営利活動法人 ブレーンヒューマニティ 事務局次長）

活動概要：NPO法人ブレーンヒューマニティは、兵庫県西宮市を中心に約950名の大学生が主体となって運営する非営利組織です。阪神・淡路大震災で被災した子供達の支援からはじまり、現在では小学生・中学生を対象にしたキャンプや中高生の海外ワークキャンプ、高校でのキャリア教育プログラムや不登校・生活保護世帯の子供達の支援など幅広い領域で活動を展開しています。

私が勤めるNPO法人は、その活動のほとんどを年間900名以上の学生ボランティアスタッフが担い、子どもたちへ様々な事業を届けています。ボランティアスタッフに、いかにして主体的に、責任感を持って活動してもらうか。これまでの当会の歴史は、常にこの課題との戦いです。これまで奮闘してきた日々の実践と、みなさんが抱える人材育成の悩みや課題について、一緒に考える時間を持てましたら幸いです。

分科会 E

テーマ：自律的人材のマネジメントを考える ～看護職の実践知に学ぶ～

報告者：岡山 寧子 氏（同志社女子大学 現代社会学部 教授）

経歴：1977年聖路加看護大学（現聖路加国際大学）卒業。聖路加国際病院、大阪府立看護短期大学（現大阪府立大学）勤務を経て、93年に京都府立医科大学医療技術短期大学部助教授に就任。96年同学教授、2002年から同学医学部看護学科教授。14年から現職。

看護の現場では、いつも対象となる人の状況を様々な角度から観察・判断して適切なケアにつなげていきます。その観察、判断そしてケアの力、すなわち「看護の力」は学校でその基礎を学び、看護職となり現場に出てから実践の中で積み重ねていきます。特に、初めて現場で働く新人看護師にとって、いかに学校での学びを実践につなげて、成長していくのかが、その後の看護キャリアに影響して行くといってもいいかもしれません。看護職の人材マネジメントについて、この新人看護師の育成の視点から紹介したいと思います。看護職の実践知をどのように活用していくのかも皆さんと考えていきたいと思っています。

分科会 F

テーマ：リーダーシップで業務改善！

報告者：岸岡 洋介 氏（京都外国語大学 講師）

経 歴：2007年11月～2013年8月まで、愛媛大学にて「愛媛大学リーダーズ・スクール」の運営・学生指導に従事。2013年9月より京都外国語大学において、リーダーシップ概論、グローバル・リーダーシップ論を担当。大学間連携共同教育推進事業（通称：西日本学生リーダーズ・スクール）で関西圏の学生リーダー養成を目指している。

人は、親として、上司として、先輩として、経営者としてなど様々な場面でリーダーシップを発揮する場面が生じます。そして、現代社会においては、人を指導する立場だけではなく、どのような立場の人でもリーダーシップを発揮することが求められています。

本分科会では、参加者同士のワークや対話を通して、楽しみながら自己や他者のリーダーシップについて見つめていきます。業務改善のヒントが眠っているかもしれません！

※基調講演及び各分科会のテーマや概要等は、都合により若干の変更が生じる場合がございます。

変更が生じた場合は、SD フォーラムの Web ページ上でお知らせ致します。

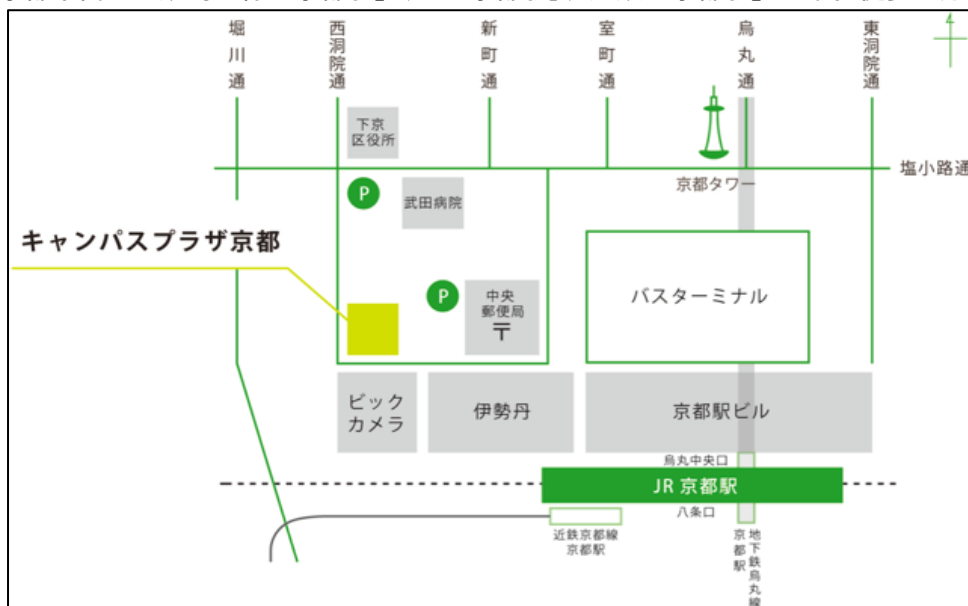
16時15分～17時15分 第3部 情報交換会

2階ホールにて、立食形式の情報交換会を開催します。

会場へのアクセス

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939

京都市営地下鉄烏丸線「京都駅」、JR「京都駅」、近鉄「京都駅」下車。徒歩5分。



<申込み・問合せ先>

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 教育開発事業部 SD 事業担当

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都

TEL : (075) 353-9163 FAX : (075) 353-9101 (日、月を除く 9:00~17:00)

E-mail : sd@consortium.or.jp

URL : <http://www.consortium.or.jp/>